

総事業費	41 千円
交付金額	20 千円

地域の実情と課題

本市が令和2年度に実施した郡山市労働基本調査によると、女性管理職の割合は17%と低い状況にあり、更なる女性の活躍促進に向けた支援が必要な状況にある。

また、理工や政治の分野のほか、農業をはじめあらゆる分野で女性活躍が求められてきており、女性が広く興味・関心をもつ機会の創出及び提供を効果的に行うこと、家庭や地域、職場における理解やサポート及び女性が活躍しやすい環境づくりを進めていくことが課題である。

事業の特徴

進路選択前の児童、生徒にもものづくり体験や実験、活躍する女性社員との交流を通して理系の楽しさについて体験していただく場を提供し、多様な女性活躍の姿(ロールモデル)をきっかけとして、理工系分野に興味関心を持ってもらう機会を提供する。

事業の効果

体験教室を通じて、参加児童生徒の理工系分野に対する興味・関心の高揚を図ることができ、今後の取組につながるものとなった。

※理系に興味を持った参加者の割合 100%

(大変興味を持った66.7%＋少し興味を持った33.3%)

目的・目標

女子生徒の理工系進路選択の促進するため、理工系分野の楽しさを実感し、理工系の仕事を目指すきっかけ作りをする。

【理工系女子参加者数】目標:60人 実績:8人

R4年度は人数を制限し、対面での体験 教室を実施。

連携団体

- 公益財団法人郡山市文化・学び振興公社(ふれあい科学館)
- 郡山女子大学
- こおりやま広域圏市町村

今後の課題

R3年度のロールモデルによる基調講演・サイエンスショーの録画配信から手法を変え、6月の男女共同参画週間に実施したが、今後は、参加を希望する児童・生徒と保護者が参加しやすい開催時期を検討していく。また、理工系以外で女性の社会進出が進んでいない分野に対する取組についての検討を行うとともに、興味を持つきっかけづくりとして児童・生徒の参加を促すための企画や周知方法を検討していく。

事業の概要

小中学校の女子児童生徒を対象に、理系分野へ興味をもつ機会を提供するため、理工系女子応援企画として体験教室を開催した。

【実施状況】

(1)実施日: 令和4年6月26日(日)…男女共同参画フェスティバルに併せて開催

(2)場所: 郡山市男女共同参画センター(さんかくプラザ)

(3)内容:

①スペースパーク科学体験 講師: ふれあい科学館スペースパーク

- ・カラーキャンドル作り
- ・3Dシミュレーション

②初めてのケンチュクガク体験 講師: 郡山女子大学家政学部生活科学科建築デザイン専攻 准教授 長田 城治 氏

- ・ケンチュクってなんだろう?
- ・クイズに挑戦! ケンチュクの見方
- ・初めての建築模型で強度コンテスト

(4)参加者: 8人

男女共同参画情報紙「シンフォニー」
第57号より抜粋

○理工系女子応援企画



午前の部 教室名 スペースパーク科学体験コーナー
講師 梅本 顕史さん 安藤 享平さん (ふれあい科学館スペースパーク)



参加者のみんなでカラーキャンドル作り。科学の不思議を体験しながら、好みのキャンドルができました。

特殊なメガネをつけ、3Dの世界へ。地球を飛び出し宇宙へ出発。イトカワやリュウグウを経由しながら、壮大な宇宙を旅行しました。

午後の部 教室名 初めてのケンチュクガク体験
講師 長田 城治さん (郡山女子大学 生活科学科建築デザイン専攻 准教授)



前半は、建築士の仕事について、クイズや質問を交えながら、楽しく教えてもらいました。

後半は、建築模型作りに挑戦! 紙を折って作った模型が、どのぐらいの重さに耐えられるか実験しました。

建築模型
※折り方で強度が変わります。

みんな慎重に本を積み上げ、記録が出ると歓声が上がりました。